

(3) 秋澤藩一西北方ニ在ル鹽神廟下ノ支那商人
聚昌号ノ房屋
中ニ間 長六間 六有六麦粉約五万包(巨子封度)ヲ蓄積ス

(4) 紀鳳台磨粉所ノ前方空地(巨市街附近)
麦、粟、蕎麦等ヲ蓄積ス

紀鳳台磨粉所ニ用ユル製粉原料ハ旭濱沿岸ノ小磯家村ニ在ル支那ヨヤンノ七八隻ヲ
彼州地方ヨリ運ビ來レリト云フ

(5) 白銀山北ノ武庫内
蕎麦、粟等ヲ收藏ス

(6) 白雲山病院前ノ西南方ニ在ル支那商人
聚泰号ノ油房
米、麦粉ヲ收藏ス

(7) 白雲山南麓ニ海岸ニ在ル米商旭洋行ノ
鉄房
有苗ノ麦粉約一万包(巨子封度)ヲ收藏ス

(8) 太陽溝新市街北方ノ陸軍倉庫
蕎麦、蕎麦粉、大麦、燕麥ヲ收藏ス

此在庫品ハ開戦後西海岸ヨリ密輸入シタリト云フ

支類ニ尤程欠乏ヲ感シ居ラリルカ如キモ副食物至テハ困窮甚シク附近村落内ノ牛

馬等ハ去ル七月上旬ニ於テ已ニ悉ク喰尽セリト

物價一時非常ニ暴騰シ麵粉五十封度ハ一袋魯銀九留ニ大根一本ニ仙五厘ヨリ三仙ニ

葱瓜、茄子、一斗五十仙餘ニ上リタル一アリシモ其後其粟(方面)ノ密輸入ハ続々入

港シタルヲ以テ麵粉ノ如キハ一袋六留近下居ヤリ

四要塞内部ニ在ル病院ノ位置及其形跡

位

置

収容し得ル傷病兵ノ概數

(一) 大陽溝魯濟銀行南方ニ在ル魯國料理店ノ大棟

一千餘人

(四) 大陽溝ニ在ル關東參謀本部

五百餘人

(八) 西大陽溝西方ノ新築廠舎七棟

五百餘人

(二) 塔連北城南方ノ機房

五百餘人

(六) 白山東麓ニ平時衛戍病院
旧病房十二棟
新築病房數棟

三千人

(八) 海軍病院

三千人

(一) 趙家溝旧陸軍病院

一千人

(四) 黄營ヲ病房ニ改造シタル少 四棟

(一) 散場溝ノ新築病房 五棟

以上諸病院ハ去年七月中旬ニ於テ已ニ殆ニト全部滿員ニ其後運搬シ来レル傷病兵
ハ散場溝ノ太平街、興隆街附近ノ民家ニ収容シツアリ

五、旅順停車場内ニアル車輛及ヒ戰用品

汽罐車

三輛

客車

四十餘輛

貨車

三十餘輛

火砲及彈藥

若干

病兵用人車及擔架

若干

或ハ云フ目下停車場ニハ概關車六輛、客車貨車二百餘輛アリト

六、石炭ノ蓄積所

(一) 黄金山北麓

軍艦用

(二) 白玉山南麓海岸

鐵道用

(三) 老虎尾

工廠用

七、一般市民ノ風説

目下旅順ニ在ル支那人ハ魯軍用達商人、小商人、苦力等合計三千餘人ニシテ

彼等ノ風説ニ拠テハ露兵ノ境遇ハ頗ル可憐ノヲミテ何レモ白旗ヲ樹テ日本軍ニ
下ルヲ期シツアルモ中將某及砲台指揮ニ任セル大佐某ハ非常ナル死守論者ニシテ
戦アル母ニ黄金山砲台上ニ曝露シテ部下ヲ督励シ振ツテ士氣ヲ鼓舞シツハ
アルヨリ僅ニ今日迄支ヘ来リタルモノニシテ若シ能ク此大佐一人ヲ失ハハ全軍ノ降
伏期シテ待ツベキナリ當地ニ衆行スル関東報ノ所説ニヨレハ鴨綠江岸
ノ戦ニハ日軍ヲ試シ金州ニテハ日軍ヲ妨害シタルノ魯軍ノ活動スルハ今日
以後ニ在リト會々得利寺ノ大戦一敗地ニ淪レ又前日ノ如キ虚心平意ヲ
装フモノナリ今ヤ已ニ南下救援ノ望全ク絶ヘタリトテ駐屯諸兵ノ失望
一方オフトゾ

三軍通口第十三號

明治三十七年八月十七日

第三軍參謀長伊地知章介

殿

旅順方面ノ情報ヲ如シ

本月上旬以來聴取シタル人ノ言ヲ綜合スレハ概不存ノ如シ砲台番号ハ松樹山砲台ヲ第五号ト東
方ニテ遂次番号ヲ附ス例ヤハ二龍山砲台ハ第二号東鷄冠山ハ第六号砲台ナルガ如シ

一 九号砲台ヨリ以西ノ砲台ハ五号砲台之ヲ指揮シ六号砲台ヨリ以南ノ砲台ハ六号砲台之ヲ指
揮ス

二 東及北正南各砲台ノ前方斜面ニ存在スル地隙ニハ地雷アリ

三 松樹山砲台ノ西南ニ新築砲台アリ内ニ野砲六門アリ又其西南ニ小砲台アリ機関砲五門ヲ

有ス

四 二龍山砲台ト其東方第三号砲台トノ中間ニ在ル道路ノ兩側塹壕線各側二門(計四門)



ノ機関砲

五、五家房西南高地ノ斜面ニ小砲台アリ内野砲四門ヲ配置ス

六、望台北高地ノ臨時砲台ニ加農三門、東鷄冠山西北高地ノ臨時砲台ニ加農三門、東鷄冠山西方臨時砲台ニ加農二門アリ以上加農ハ何モ海軍砲ナリ

七、松樹山及ニ龍山砲台ハ外壕アリ深幅共約二丈外岸坑路及砲台下ノ陰蔽部ヨリスル射撃ニ依テ壕内防禦ヲ編成ス

八、五号砲台ノ外壕深幅ハ五米計ナルガ如ク土人ノ言ニ依テ推測ヲ下セバカボニエールヲ構成セルモノハ如シ

九、三号四号砲台ノ外壕ハ僅カニ巾四尺深サ人肩ニ達スルニ過ギズト云フ土人トニ龍山砲台ノ外壕ト同一ナリト云フ土人各ニ名アリテ未タ眞状ヲ推測シ難シ

十、砲台ノ外方斜面ニ在ル塹壕ハ第一号砲台ヨリ第八号砲台迄上下二線第八号砲台以南ハ線アリト云フニ龍山附近ニ在テハ其上方塹壕ハ火線ヨリ壕底ニ至ル迄約一米四五十ノ高サヲ有シ上方ニ掩蓋ヲ有ス下方ノ塹壕ハ断面上者比シテ小又掩蓋無シ

一、説々依レハ本月八里庄ノ家屋ヲ破壊シ掩蓋ヲ作リ、アリト第七号砲台附近
ニ在ラハ上下共掩蓋ナシ只彈藥ヲ置ク部分丈掩蓋ヲ構造シ砲台ノ塹壕ノ暗路或
ハ塹壕ヲ以テ連落ス

二、去月廿四以來敵ハ松樹山砲台前方ヨリ五家房南方斜面ニ直リ鉄糸網線外ニ
地上約三尺高ノ杭ヲ数尺ヲ隔テ、ニ線ニ植立シ杭上ニ固着セル楔子ニ鉄線ヲ纏結シ
即チ電流ヲ通シテ突撃隊ヲ防止セントスルモノナルガ如シ但シ鉄線ノ東西端末点不明

三、三号砲台ト四号砲台トノ中間覆道掩護壁ニ通路アリ同処野砲二門アリ

四、五号砲台ト六号砲台トノ中間覆道掩護壁ニ通路アリ同処野砲六門アリ

五、水師營面南蟠龍山ヨリスル鉄糸網ハ水師營ノ南方ヲ過キテ龍眼北方ノ高地
附近ニ在ル小砲台ノ北方ヲ繞リ南折シテ八里庄ノ西方ヲ過キニ龍山ニ至ル

六、五号砲台ト六号砲台トノ中間斜面小砲台アリ内ニ野砲二門（機關砲非サル）アリ

六、七号砲台ノ東方斜面ニ連続セル土壁アリ其北端ニ小砲台アリ野砲二門ヲ配置ス
此小砲台ノ西方覆道掩護壁ノ内方ニ加農一門（十三冊知？）アリ

七、六号砲台、外壕なし砲台、前方は塹ノ土壁に而已

六、七号、八号砲台共ニ外壕なし

九、大孤山前ヨリ教場溝ニ通スル道路上ニ塹壕線三門ノ機關砲ヲ配置ス其上
方掩蓋ヲ作レリ其下方鉄糸網線ノ外方地隙ニ地雷アリ又鉄糸網内方大
岩石ノ傍ニケノ地雷アリ

十、小孤山前ヨリ趙家溝ヘ通スル道路ノ西側鉄糸網線外ニ地雷アリ

十一、趙家溝東北高地ノ砲台ニ外壕ヲ設ク深隔共ニ丈五尺計

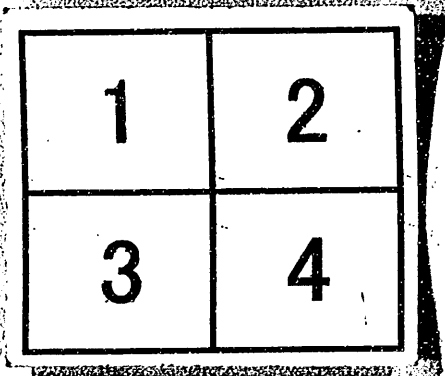
十二、二万分ニ上趙家溝東北約一千米突ニ在ル陸師藥庫ハ現ニ露軍ノ火藥庫ニ
使用シアリ

十三、唠哩咀砲台東方ニ新築砲台ニアリ其南方砲台ハ主トシテ海正面ニ対シ其北
方ノモノハ堡塁ニシテ四至七八間知ノ加農四門ヲ有シ外壕ニカサエールヲ有ス
其外、斜堤外ニ鉄糸網アリ

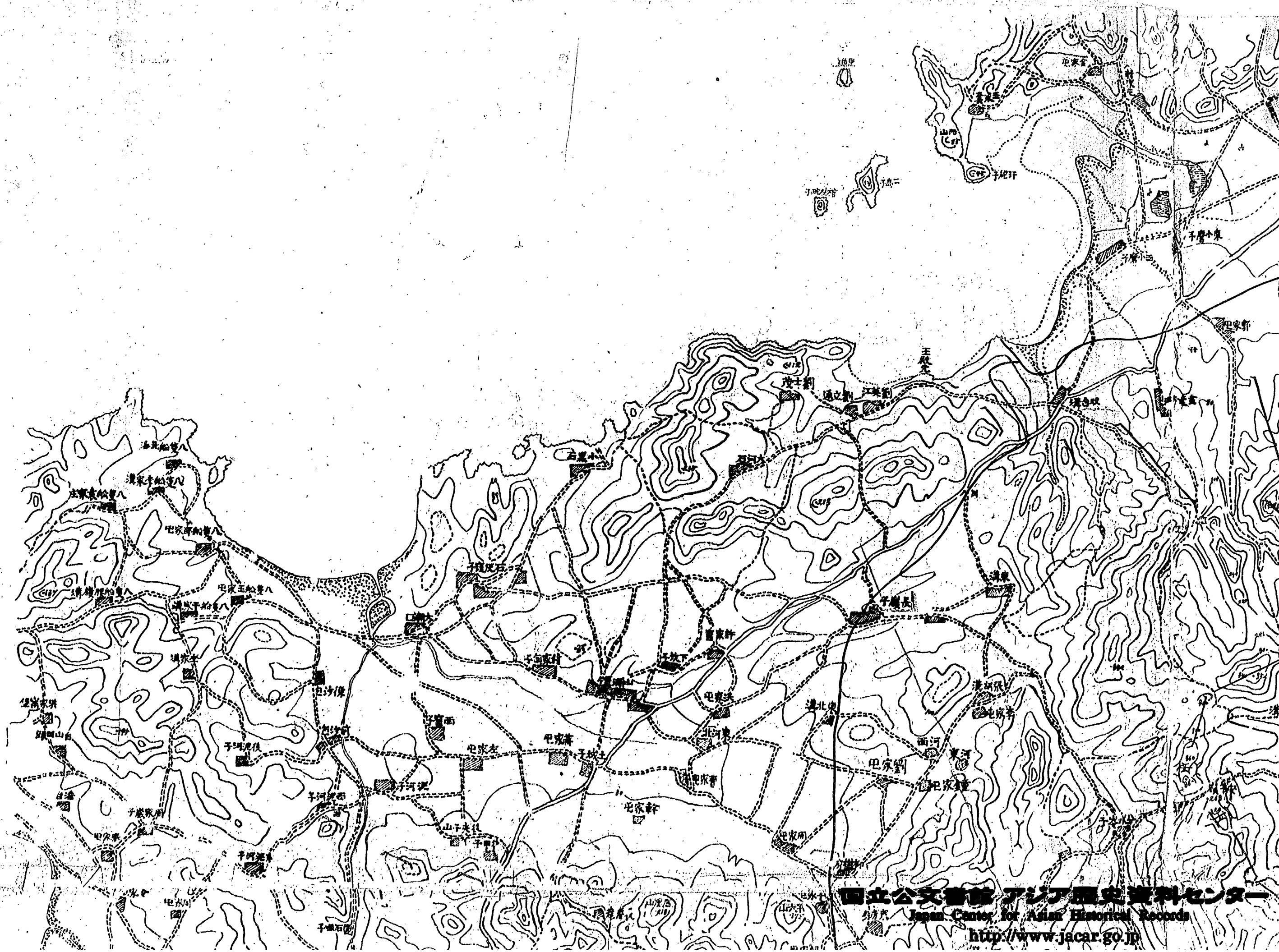
十四、第八号砲台ヨリ以南ノ各砲台新ニ土壁ヲ作り相連絡ス

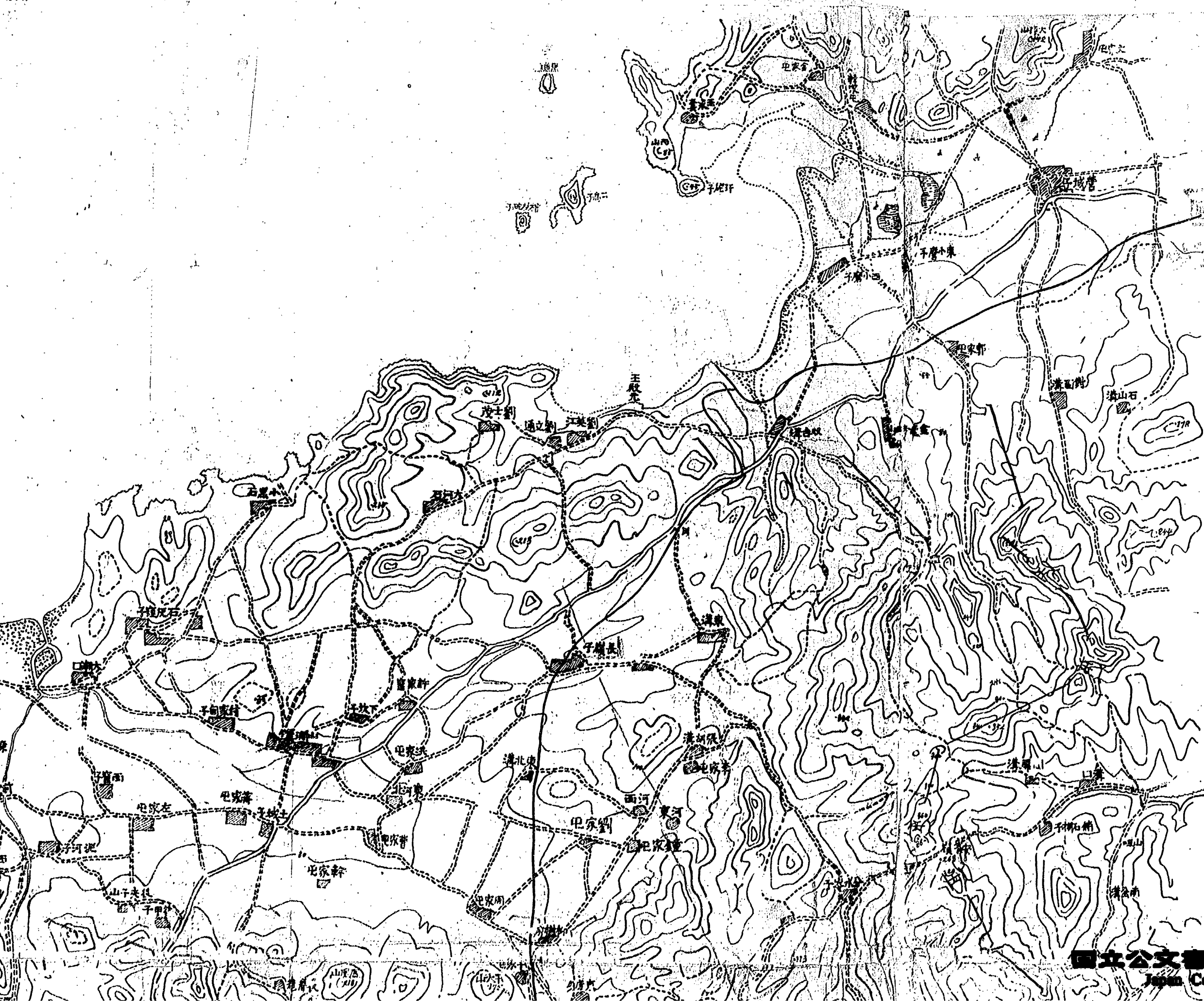
于五元室房南方清國旧兵營跡ニ砲台アリ内ニ鋼製砲(機関砲)之四門ヲ備フ
備考各砲台ノ備砲ニ就テ確實ナル數ヲ得ス數土人ノ所言各異ナリ或タ左ノ各
砲台備砲ハ稍ヤ確實ナルカ如シ
勞嘒咀、南砲台榴彈砲六門 同北砲台榴彈砲四門
勞嘒咀東方新築砲台加農五門 鉄橋ヲ有ス
右砲台北方新築堡壘其七八珊知ノ加農四門

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0529
0530
0531
0532







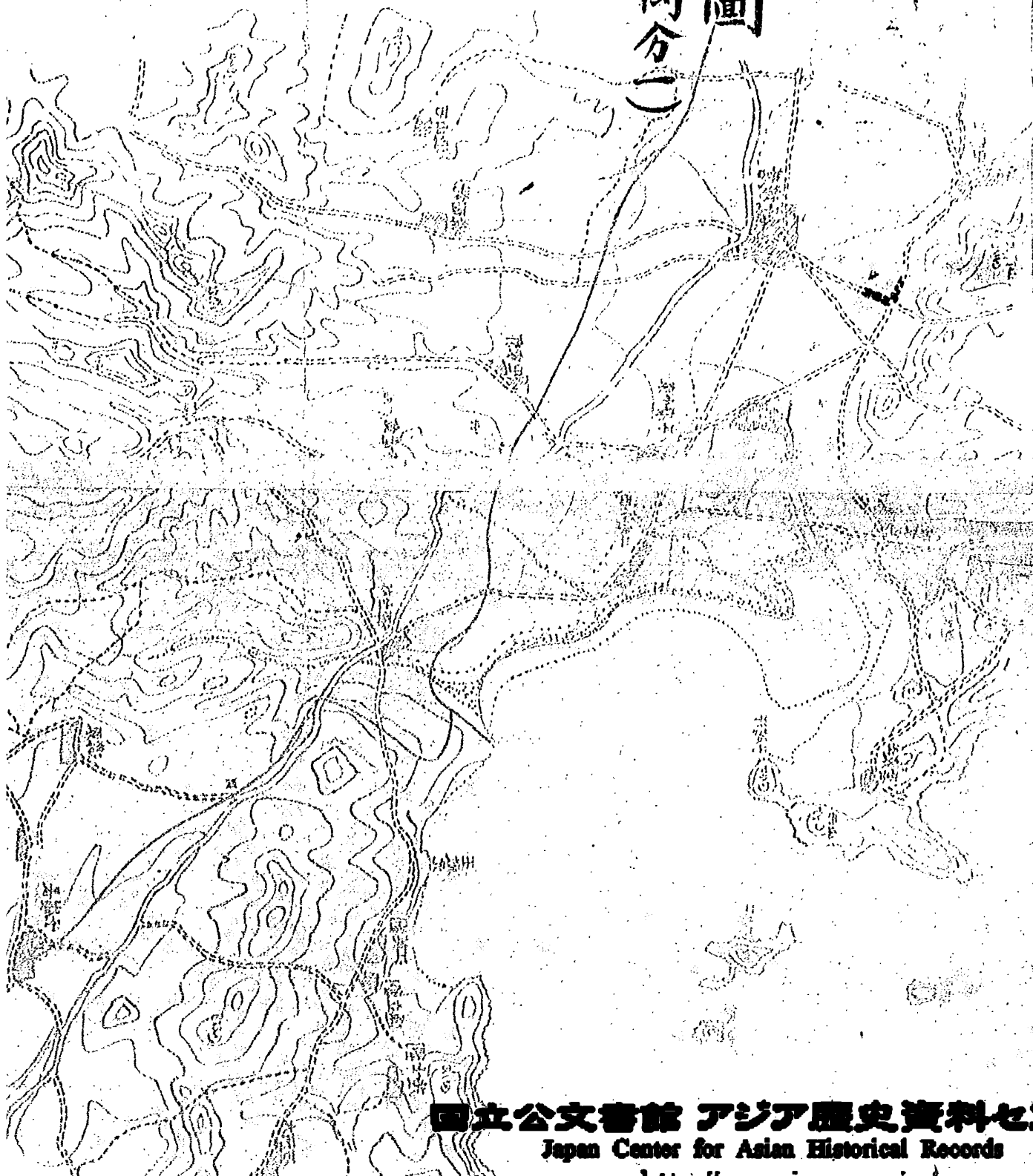


0533

旅順近傍略圖

(五萬分一)

軍事機密



秘

通報

八時三十分頃
新柳橋方面

一昨夜十時頃より第一軍を謀長より左へ通報あり

軍は明亦より拂曉にカレバレイより大轉子附近に亘る高

地線に據り敵を攻撃す

二昨夜九時頃より第二軍を謀長より左へ通報あり

軍は鞍山站附近に敵を攻撃せん為メ五時頃

朝より運動あり

三昨日午後三時三十分頃謀長より左へ通報あり

貴軍は情況より推知す之に為る當局者として

将校以下、補充兵隊等が攻城器具及重砲弾

定白易司合部

0534

葉ノ輸送ヲ急セツアリ

四昨日午時東郷聯合艦隊は長官官ヲ左通報アリ

皇軍軍連日、勇猛に戦つた、疲勞を
 少カラズに、陣亡者、死傷者、生ぜしめん、趣唯
 々深ク同情を表え、外に陸軍軍艦隊、増勢力
 爲メ更ニ三珊瑚島門ヲ取寄せ申すハ、四五日中ニ到
 着ス、ト豫期ス、當ルニ珊瑚島、葉方百奈、ト所
 一千奈ヲ補充し、昨日、所送し、旅順、敵
 艦中、セバストあり、ハ、昨日、駆逐艦二隻、昨日、村
 機械、水雷、の、惟、駆逐艦一隻、外沈没、至る

0535

サリシテ戦艦力ハ當分失シタルモト認メ皇軍
再度ノ攻撃ヲ開始シ其敵艦ノ修理ヲ遅
延セシムル爲メ時々造船所及碇泊軍艦ノ間
接射撃ヲ施行セシメラルルハ幸ナリ
五一昨夜十二時ヲ課次長ヨリ尤通報アリ
二十日夜後頃ヲ出テ二十三日芝罘ニ来リシ支那
人ヲ得タル情報如左
毎日死傷者凡そ千二百人カト馬車ニテ運
搬シ五隻ノ汽船ヲ病院船トシテ既に満タスナリ
尚ホ民家ニ収容シツアリ治療ノ手當屆カズ
呻吟ノ声四方ニ聞ヘ悲慘ノ有様目モ當テラ

レス

日本軍、砲撃中、城をシテ殊に大なる弾地
中六尺入りテ破烈たる中、附近、建物を微塵
ニ碎ケ、慘々たる極、祇候たる軍艦ハ水線以
上ニ大砲ヲ受ケ又々船体亦大破損シアリテ土
官人等テ逃走セリ

第三軍参謀長伊地知幸介

右の通り様也

明治三十二年八月一日

マルエー 碓泊場司令部

細谷第三艦隊司令官

0537

通報 八月廿八日正午

一、昨日午前七時第二軍系隊長より左ノ通報あり

軍ハ今正午午前七時頃敵波大々より候蒙化南方高地ニ亘ル線ヲ奪取
セリ該線ニテリ敵ハ兵力微弱ニシテ大部ハ昨夜未退却セシメられシ

二、去ル平日第一師團ヲ捕ヘタレ俘虜ヲ訊問シタリ結果左ノ要旨情報
ヲ得タリ

其一、現下該順ニ在ル歩兵ハ約一連隊ニシテ他ニ独立ノ一中隊アリ義勇兵
ハ約百三十人海軍兵ハ約一十人ニカカモ

其二、現下歩兵各隊隊ハ其兵數大ニ減少シ約半數ヲ出テガ特校
次下一般ニ士氣沮喪シタルモ「スラツセル」ニ「スミス」ノ「フオリ」及

定白易司令部

0538

砲台大佐一名ハ頑トシテ最後迄抵抗セシヲ期スルガ如シ

其三、砲臺ニハ海軍ヨリ成リ上ケル（巨砲（八吋砲）アリテ海軍將校
セカ射撃指揮ヲ断ル

其四、露國將校中ニハ去ルニテ留ルハ辛丑日ハ日本軍旅順口ヲ占
領スルナシト想像シ白旗ノ掲グルヲ俟ケシモノアリシト云フ

其五、旅順ニハ歩兵第十三聯隊ヲ備隊トシテ駐屯シアリ各聯隊ハ
甲乙ノ差別ナリ人員ヲ平均転換シツクアツカ如ク現下ハ砲臺兵ハモ

戦食トシテ使用シツクアリト云フ

其六、日本軍ノ勇敢ニシテ連続スル攻撃ト砲彈ノ猛烈ナルハ大ニ
避易シ居ト云フ

其七、傷病者ハ目下病院ニ充満シアリテ最早収容ノ餘地ナリ徑テ陣

地・遺棄せる者アリト云フ

其ハ麵包ニ食レザルモノ肉類ナシハ銃弾ハ十分ナルモ砲弾ハ

大ニ飲受ス

定白易司令部

0540

細多の

通報

八月十八日正午
於 柳樹房

一、昨日午前十一時第三軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ今二十七日午前七時頃蘇波大谷ヨリヨウカトニ南方高地ニ耳ヲ奪取セリ該

線ニアリテ敵ハ兵力微弱シテ大部ハ昨夜来退却セシカ如シ

二、昨日午後三時三十分總參謀長ヨリ左ノ通報アリ

攻城用トシテ二十八榴彈砲一支隊ヲ貴軍ニ屬セラル同砲床建築ノ為ノ先ツ

横田砲兵大尉ノ率ユル人負材料ヲ送ル同官ハ二十七日宇呂ヲ登リタルニニ向フ

三、去二十日第一師団ニ捕ハタル俘虜ヲ訊問シタル結果左ノ要旨ノ情報ヲ得タリ

其一、現下旅順ニ在ル歩兵ハ約八聯隊ニシテ他ニ独立ノ一中隊アリ義勇兵ハ約百三十

人ハ海軍兵ハ約千人アルカ如シ

其二、現下歩兵各聯隊ハ其兵數大ニ減少シ約半數ヲ出テス將校以下一般ニ士氣

沮喪シアルモ「ステツセル」スミルノ「フ」フオーシ及砲兵大佐一名ハ頑トシテ最

後マテ抵抗セニ「フ」期スルカ如シ

其三、一砲台ハ海軍ヨリ曳キ上ケタル「巨砲（八吋砲）」アリテ海軍將校之カ射撃ヲ

指揮ヲ執ル

其四、露國將校中ニ去二十四日又二十五日ハ日本軍旅順口ヲ占領スルナラント想像

シ自旗ノ掲ルヲ俟チシモノアリシト云フ

其五、旅順ニ歩兵第十三聯隊豫備隊トシテ駐屯シアリ各聯隊ハ甲乙ノ差別

0542

ナリ人負ヲ平均轉換レリ、アルカ如ク現下ハ輜重兵ヲモ戦負トシテ使用シ
ツ、アリト云フ

其六、日本軍ノ勇敢ニテ連続スル攻撃ト砲彈ノ猛烈ナルハ大ニ避易シ居ト云フ
其七、傷病者ハ目下病院ニ充満シアリテ最早收容ノ餘地ナク從テ陣地ニ遺棄セ
ル者アリト云フ

其八、麵包ニ乏シカラサルモ肉類ナレ、ハ銃彈ハ十分ナルモ砲彈ハ大ニ缺乏ス

四、晨日タルニ、碓泊場司令官今橋歩兵大佐第三軍兵站監ニ任セラレ瀬名砲
兵大佐其後任トナリタル旨通報アリ

五、去テ一日夜榮一細谷司令官ヨリ左ノ要旨ノ通報アリ

二十日午後ヨリ二十日午前ニ直リ我軍艦千歳及對馬ハコレサコフレ（京谷
海峡）ニ於テ敵艦ノ「ウィグ」ヲ撃沈シテ之ヲ破壊シ同艦ハ浅瀬ニ乗止ケ
半ハ沈没セリ

我對馬ハ信濃庫ヲ撃テ少シシ浸水シタルモ航海ニ支障ナリ又兵負ニ死
傷ナシ

第三軍參謀長伊地知幸介

0543

通報

八月二十九日午後四時
指揮所



一昨午前三時總司令官ヨリ九ノ通報アリ

一、第一軍方面

第三師團ハ今朝後軍ヲ占領シ敵砲八門ヲ奪獲シ目下攻
撃前進中ナリ第二師團ハウエゴウ西方高地ニ向ヒ前進中近
衛師團ハゴウホウジ附近ニテリシ敵ヲ北方ニ追撃シ同時ニカ
イゴウ北方高地ニアル敵ヲ攻撃中ナリ以上六本日午後三時迄情
況ニテ其後ノ情況ハ未ダ報告ニ接セス

二、第四軍方面

軍ハ本日午前早ク豫定ノ地ヲ占領セシガ午三時至リ敵兵逐次陣
地ヲ撤退シ退却スルノ徴候ヲ確認セリ依テ軍ハ本官ノ訓令ニ基キ
直ニ追撃ニ移リ今夜ハ七連子ノ大石洞ノ線ニ前進セシガ未ダ其
後ノ情況ニ接セス軍ハ明日更ニハシカニ附近迄前進シテ第一軍ト直
接ニ連絡スル筈ナリ

三、第二軍方面

軍ハ本日午前八時前後微弱ナル敵ヲ駆逐シテ豫定ノ地ヲ占領シ
午後三時至リ当面ノ敵兵陣地ヲ撤退スルノ徴候ヲ認メ本官ノ訓令ニ基キ
直ニ追撃ニ移リタルニ其後ノ情況未ダ審カサズ一軍ハ本日鞍山
站下ウゴウホノ線ヲ占領シ明日ハ沙河附近迄前進スル筈ナリ

四、本官ハ明日海城ニ滞在ス。ゴウゲンテツ附近ニ在リシ敵ノ退却ハ其理由ヲ
知ルニ由ナシト云元前日未ダ当面一軍ノ壓迫ヲ受ケタル特ニ第一軍ノ

行運六其五十八、原因ハヘト思ハル、敵ハ遼陽附近ニ於テ隊伍ヲ整頓シ、眞面目ニ戦陣ヲ交テヤ、吾ハ不明ナリト、彼等本官ハ敵ニ時日ノ猶豫ヲ與ヘズ、第一軍ノ状況ヲ審査シタル後、直ニ遼陽攻撃ノ準備ニ着手セシトス

二、同日ニ分甘泉堡、第二軍系謀長ヨリ友ノ通報アリ

軍ハ当面ヲ敵ノ駆逐シテ、今ニ七時、八時頃鞍山站附近ヲ占領セリ、明日午前六時出奔、遼陽街道及其以西ノ地区ヨリ沙河線ニ前進セシトス、軍司令部ハ四時台ニ至リ、三、午後四時、統參謀長ヨリ友ノ通報アリ

第一軍ハ二十日、夜半ニ敵陣地ノ中央ニ向テ行ケル銃機突撃ヲ以テ戦陣ヲ開始シ、昨ニ七日夕ニ見ル激戦ノ後、敵ノ第一線ヲ攻落シ、次ニ後車嶺ヨリ孫家寨、南方高地ヲ経テコウホウシ、北方ニ地直ル線ヲ占領セリ、敵ハ狙撃ノ第三、第六師團、線列第九、第三十師團砲台門ニシテ其ニ力ハ目下遼陽方面ニ退却シ、ヤリ此戦陣ニ於テ敵ハ数ヶ月前ヨリ巧ニ峻山上ニ構築セル堅固ナル陣地ニ據リ、最モ勇力敵ニ抵抗セリ、兩地ノ戦陣ニ於テ、我死傷將校以下約二千余、鹵獲砲八門、彈藥及其他多數、敵ノ死傷ハ未タ詳カラス、軍ハ本日、廟子東方高地線ヨリ大石門嶺（望報台ノ東南約三吉米）ヲ経テ、コウウシザン附近ニ至ル線ヲ占領スル筈、第四軍ハ敵ニ追テ目下將軍台ト大石門ノ間ニ於テ敵ト對戦中ナリ、第五軍ハ七連ヲ方ヨリ敵ヲ追テ追スル筈

四昨夜十時三十分第三軍系謀長より通報アリ

軍系日ハナチコソノ附近ニ在ル敵ノ歩兵約一師団砲兵数中隊ヲ攻撃シテ午前十時頃ニテナチコノ附近ノ高地ヲ占領シテ午後二時頃沙河ノ線ヲ占領セリ当方面ノ敵ノ大部ハ遼陽方面ニ退却シ其一部ハミササニホノ南方高地附近ニ停止セリ本日ノ戦聞ニ於テ敵ノ野砲八門輜重車数十輛ヲ鹵獲シ捕虜將校以下若干アリ我死傷將校以下約二百敵ノ死傷ハ未タ審カサレル第三第六師団方面ニ遺棄セル敵ノ死体ハ將校以下約百六十 軍司令部ハトソカントニ在リ

九二十七日附艦隊ヨリノ通報ニ由ルニ十日ノ戦聞後上海ニ退クニケルマスヨリ及駆逐艦一隻ハ愈々武裝ヲ解ク事ト決定セルカ如シ去二十三日日進及春日ガ龍王塘方面ヨリ我軍ニ声援ヲ與フル為メガシタル動作大要左ノ如シ

午前九時日進及春日ノ二艦ハ新登田ヲ先頭トシ龍王塘附近ニ進出シ岬津嘴砲台ニ砲撃セリ先是此砲台ガ我陸軍ニ向テ砲撃シツヤリレバ我砲撃ヲ罪状スルヤ直ニ沈黙セリ

午前十時三十分頃敵艦ハストホル港ロヨ出テ掃海隊ヲ先頭トシ鮮生角附近ニ来リ陸上ニ向テ砲撃ヲ始メタリ仍テ敵艦ハ正午ニ至リ面ニ進ミテ之ヲ砲撃セシメバストホルハ倉皇港ロニ向テ退却セドレ午後零時三十分ノ敷設水雷ヲ置リサレハ艦首ヲ沈メた艦ニ傾ケリ其附近ニ

アリシ駝豚艦掃海艇等固田ニ蟬集シ午位ニ時過ヌ船通リ港内入
我ニ艦ハ黄金山低砲台等ヨリタタシ砲撃ヲ受ケタ一損傷ナシ

第三軍系隊長

伊地知幸介

0547

三軍通乙第十三號

明治三十七年八月三十日

第三軍參謀長伊地知幸介

加島第三隊長以下 殿

旅順方面ノ情況左ノ如シ

旅順内部ノ狀況

(本月二十五日及二十六日旅順ヨリ)
(避難と来リタル清人ノ言ニ依ル)

一、本攻撃開始以來露軍ノ死傷夥シ、殊ニ東北方面各砲台ヨリ市街ニ運搬
スル負傷者、昼夜絡繹絶ヘズ太陽溝及白玉山東南ノ病院ハ充滿シ市
街ノ東北部並ニ太陽溝附近ノ洋屋ハ多ク病院トシテ使用セリ残留セル清
人ハ傷者運搬ニ使役セラル
二、内部ニ於ケル我砲撃ノ結果、
船渠内ノ建築物約二十棟ノ屋蓋ヲ突貫



0548

シ油房ヲ燒棄シ市街ノ東北部ニ在ル監獄附近ニ於テニ家屋ヲ又白
玉山東南側病院附近ニ於テ僅少ノ家屋ヲ破壊セリ其少數ハ港内ニ在
ル船舶ニ命中セリ特ニ白玉山附近ノ火藥庫ヲ燒棄セリト云フト雖其
位置月瞭ナラス

三、露軍ノ使用スル通訊(清人)ノ談ニ依ル目下露軍ノ總數ハ一萬千ニシテ
内八千ハ東北正面ニ三千ハ西南正面ニ配備セラルト云フ

教場溝ノ東北谷地ニ第三十五第三十六兩聯隊アリ

尤宝房ノ北方谷地ニモ歩兵甚カラス

以上敵兵ハ陰蔽部ヲ構築シテ其内部ニ在リ

太陽溝附近ニ多クノ敵兵ヲ見ス

四、機噐局ニテハ盛ンニ空藥莖ニ裝藥シ又若干ノ彈丸ヲモ製造スト

0549

云フ工夫ハ午後七時ヨリ午前六時迄夜業ニ従事ス

五婦女ハ黄金山北麓ノ落サ敵部或ハ市街家屋下ニ構造セシ地窖内ニ

陰匿スト云フ

一説ニ依リハ婦女ハ已ニ老鉄山東方溪谷ニ移サレタリト云フ

老鉄山附近ノ状況(文家宅及王家宅附近ノ土人ノ言依ル)

一老鉄山頂ヨリ白嵐子ニ通スル小径ノ存スル四地内ニ約一ヶ月前ヨリ糧食

(太陽溝ヨリ)彈藥(旅順ヨリ)ヲ運搬ス太陽溝白嵐子南方練瓦製造

所間ニ元来「ドコービル」アリ

一曹家溝西南高地ヨリ對庄溝西方高地直リ塹溝ヲ掘開シ曹家溝、西

南及東南高地ノ塹壕ハ掩蓋ヲ有ス但シ鉄条網及地雷ハ未ダ之ヲ布設

セス

0550

三、曹家溝東南104ノ高地ニ小砲台ヲ作り内ニ野砲四門アリ
自嵐子西方高地ノ稜上ニ砲台ヲ構築シ野砲九門ヲ備ヘ對庄溝東南
約一千米突ノ高地ニモ砲台アリ
四、糧秣及彈藥ヲ貯藏スル凹地ニ歩兵及水兵ヲ合シ約二千人幕營
ス

(了)

0551

通 報 八月三十日午後四時
於 柳 樹 房

一、昨夜第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ明^{三十日}拂曉金カヲ以テヲシチサンホランジャツーンノ線ニ向ヒ前進セントス

二、昨夜十二珊海軍砲ヲミテ旅順港内ノ器械局(昼間ハ我注意ヲ惹クノ恐アルヲ以テ
夜業ヲ爲シリ)アリト報アリ(其他ノ製造場ニ向ヒ數十發ノ射撃ヲ爲サレメ
シリ)

三、昨夜十時頃敵兵約百名我占領シタル盤龍山西砲台ニ向ヒ攻撃シ来リ大部
ハ西方及西北方ヨリ急射ヲ加ヘテ我注意ヲ惹キ一部ハ我背面ニ迂回シ他
一部ハ咽喉部ニ肉迫シ其内六名ハ我堡壘内ニ突入シ来リ而シテ
此六名ハ悉ク戦死シ(内一名ハ水兵ナリト云フ)其他ノ敵ハ若干ノ死傷

0552

者ヲ遺シテ退却セリ我損害甚ク少シ

四、本日午後一時大本営ヨリ左ノ通報アリ

二十八日榴弾砲ハ来月一日横須賀ヲ出發スベシ其砲床建築爲メ
派遣セラレタル横田大尉ハ材料積込爲メ遅延シ明二十九日宇島
ヲ出發ス

第三軍參謀長 伊地知幸介

0553

軍機密

第三軍訓令

八月二十日午前十時
於柳樹房

一、軍ハ自今正攻法ニ由リ敵壘ノ奪取ヲ勉メントス然レモ各級指揮官ハ機ヲ得ル毎ニ強襲法ヲ併用シ且ツ絶ヘス有力ナル作候又ハ偵察隊等ヲ以テ敵ノ安居休息ヲ妨害シ奔命ニ疲レシムルヲ計ルベシ

ニ、各師團ノ奪取ヲ勉ム目標ヲ左ノ如ク指定ス

其一、第一師團 標高203附近ノ堡壘並ニ水師營西南方高地ニ在ル堡壘

其二、第九師團 龍眼北方高地並ニ龍山砲台ト盤龍

山西砲台トノ中間ニ在ルニ堡壘
但シ盤龍山東西砲台ハ堅固ニ之ヲ守備スルヲ要ス。

0554

其三 第十一師團 東鷄冠山砲台並同北砲台

三野戰砲兵第二旅團（一聯隊欠）及攻城砲兵團ハ各其射撃シ得ル地域内ニ於テ自己ノ判断ニ依リ又ハ各師團長等ノ要求ニ應ジ適切ナル時機ニ於テ最モ効力アル射撃ヲ為スベシ何レノ場合ニ於テモ彈藥ノ節約ヲ計ルノ勿論ナルモ我步兵將ニ敵壘ニ突入セントスル瞬間ニ在テハ全力ヲ悉シテ之ヲ援助スベシ而シテ其目的ヲ達セハ射撃ヲ中止シ爾後ノ新要求ニ應スル如ク準備シアルヲ要ス

野戰重砲兵隊ノ一部ハ第九師團ノ右翼隊龍眼北方堡壘ヲ奪取セントスル前長春菴附近ノ谷地ニ移リ之ニ協力スル準備ヲ整ヘ実行ノ場合ニ於テハ十分ノ援助ヲ與フルヲ要ス

0555

四、各攻撃点ニ向テスル對壕作業ノ開始ヨリ突撃ニ至ル迄ノ間ニ於テ
施行スヘキ工事ノ詳細ハ軍工兵部長神原大佐ヲシテ之ヲ指
示セシム

五、對壕作業中各部隊ハ勉テ獨力ヲ以テ敵ノ諸企圖ヲ防止シ万
已ヲ得サル場合ニ非レハ他ノ援助殊ニ重砲兵ノ協力ヲ乞フベカラス是
レ砲彈ノ節約ハ最も必要ナル時機ニ最も猛烈ニ射撃セシメントス
ル目的ニ外ナラザレハナリ

六、突撃前ニ於テハ勿論對壕作業中ニ於テモ各梯隊並ニ比隣諸部
隊ハ確實ニ連絡ヲ保持シ相協力シテ敵ノ企圖ヲ阻碍スヘク準
備シアルヲ要ス

七、從來我損害多キハハ各部隊ノ攻撃前進ハ密集シ過ル弊

アリシニ由ル故ニ爾後、連繫ヲ失セサルヲ度トシ疎散ノ隊形ヲ取り殊ニ一堡壘ヲ奪取シタル場合ニ於テハ直ニ左右ニ延伸シテ一方ハ射撃ヲ準備シ他方ハ各自ニ工事ニ着手スルヲ要スハ突撃ノ場合ニ於テ將校ノ死傷多クハ我軍ノ美徳トナル所ナルモ一方ハ之カ爲ノ大ニ爾後ノ戦闘力ハ減殺ス故ニ自今一堡壘ニ突入ル場合ニ於テハ必要ノ將校ノミ部隊ノ先頭ニ在テ誘導シ他ハ背後ヨリ之ヲ推進シ先頭者ハ直ニ之ニ代ルカ如クスルヲ要ス

九各師團及各部隊間、連繫殊ニ突撃步兵ト援助砲兵ト、協同動作ヲ確實適切ナラシムル爲メ左ノ記號ヲ用ユ

晝間ハ旗及火箭

夜間ハ火箭

0557

十、各部隊ニ於テ防禦ノ場合ハ勿論攻撃前進ノ場合ニ於テモ機

関砲ノ使用ヲ有効確實ナラシムルヲ要ス

十一、野戦砲兵隊ニ山砲隊ノ一部ハ突撃ハ兵ニ隨伴シテ自己ノ危

害ヲ顧ミテ猛火ヲ加ヘ可成敏活ニ堡壘内ニ進入シ奪取シタル

堡壘ノ占領ヲ確實ニスルヲ緊要ナリ

十二、各部隊ハ突撃前最近位置ニ十分ノ水及彈藥ヲ貯存シ置

クヲ要ス

十三、各級指揮官ハ如何ナル場合ニ於テモ（殊ニ突撃中ニ於テ）部下

ヲ確實ニ掌握シ常ニ其情況ヲ知悉シ在ルヲ要ス

十四、突撃前ニ於テハ十分ノ偵察（殊ニ將校ノ）ヲ為シ一タヒ之ヲ突

行スルニ至ルハ疾風迅雷ノ勢ヲ以テ一氣呵成ニ堡壘内ニ突

入スルヲ要ス。本件内閣入蔵書。若シ時、突撃隊
其時機ノ撰定、兵力ノ部署及実施法並ニ其成否ハ突撃隊長ノ
責任ナルヲ以テ同隊長ハ居常之ニ留意シ精細ニ講究シアル
ヲ要ス

十五各部隊ハ日々ノ消費彈藥數ヲ順序ヲ經テ最モ迅速ニ軍司
令部ニ報告スバシ但シ情况急迫ナル場合ニ在テハ概數ヲ以テス
ルモ可ナリ

第三軍司令官男爵乃木希典

0559



通報 八月三日午後



一、昨夜ヨリ本朝ニ亙リ當面ノ情况変化ナレ唯敵ハ望台及其西北方高地ニ工事ヲ続行シ且ツ往々破壊セラレタル堡壘ノ修復ヲ勉メテアリ

二、昨夜統參謀長ヨリ遼陽方面ノ戦況聞シ左ノ通報アリ

第一軍方面、第二師團一部及近衛師團昨ニ於大石門峯「セウザン」ノ線ヲ越ヘ「ヤユケ」東方高地ヨリ「モウカボウ」北方高地ニ亙ル線ニ向ヒ前進シタルモ地形險難ナリト敵ノ抵抗頑強ナリトテ昨日中ニ其目的ヲ達セス今拂曉更ニ攻撃ヲ実行スル筈

第四軍方面、敵ハ「シンリット」西方高地ヨリ「ソノハントン」南方高地ニ亙ル線ヲ占領シテアリ第十師團ハ朝来「ノウハントン」南方高地ニ向ヒ攻撃ヲ行ヒ且モ目下為メ其目的ヲ達セズ第五師團ハ第十師團ト連

0560

繫レテ「ライカホ」西方高地及「ユギウセウ」東方高地ヲ占領シ敵情ヲ確メツヤリ

第二軍方面、敵ハ首山堡西方高地ヨリ「シンソツト」高地ニ其線ヲ占領シヤリ軍ハ豫定ノ線ニ達シ敵情ヲ確メツヤリ

三、昨夜一時第二軍参謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ今朝ヨリ首山堡附近ノ敵ヲ攻撃セシモ敵ノ陣地甚ク堅固ニシテ其抵抗頗ル頑強ナリシ爲メ攻撃奏効ニ至ラズテ日没トナレリ軍ハ尚ホ続テ攻撃ヲ遂行セントス

四、本日午前十一時総司令官ヨリ遼陽方面ニ會戰ニ関シ左ノ通報アリ
敵ハ退却ヲ遂行スル能ハスレバ我々得テ我求メニ應ジ昨午午後以來遼陽南方ニ於テ彼我決戦中ナリ第四軍ハ優勢ニ敵ヲ攻撃

0561

ヲ受テ其位置ヲ保守シ第一軍ハ敵ノ右翼ニ向テ攻撃続行中第二軍
ノ首カハ敵ノ退路ヲ遮断スル為ノ昨夜「タイシヨウガン」ニ移レリ

第三軍参謀長 伊地知幸介

0562

通報

八咫宮御方
於柳樹旁

一、昨日午後三時第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ今三十一日未明ヨリ攻撃ヲ再興セシモ敵依然頑強ニ抵抗シ未ダ陣地ヲ奪

取スルニ至ラス唯今正午更ニ猛烈ニ攻撃ヲ決行シテアリ

二、總司令部ハ本日出發トウハシシ明言以可ニ移轉ニ旨通報アリ

三、昨夜十時半第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

軍ハ今三十一日金力攻撃ヲ終日攻撃ヲ力行セシモ未ダ敵陣ヲ奪取スルニ至ラス日

没後更ニ強襲ヲ断行スルニ決セリ第一師団ノ一部モ之ニ協力スル筈

軍ノ死傷ハ未ダ詳カラサルモ多ク大アリ

四、昨夜總參謀長ヨリ遼陽方面大會戰ニ関シ左ノ通報アリ

八月二十九日夜ヨリ三十日夕刻迄ノ情况

一、第一軍方面 軍ノ左翼隊昨九日モウカボウ高地附近ノ高地線ヲ

0563

米が占領スルに至ラス依テ三十日拂曉ヨリ近衛及第二師団ノ一部ハ更ニ攻撃
シ繼續セシモ未ダ其目的ヲ達セサル而ビテラス近衛師団ニ対スル敵ハ午后
一時頃ヨリ益々其兵力ヲ増加シ午後三時ニ至ルモ目的ノ地点ヲ奪取スル能
ハズ軍ハ昨夜第二師団ヲ先頭トシ第二師団ノ主力ヲ次ギセントウワン
附近ニ於テ「グイシ川」ヲ渡リ「ゴウワン」方向ニ進出スルノ予定ナリ又後備
混成旅団ヲシテ三十一日本溪湖附近ノ敵ヲ攻撃セシムル旨ナリ
ニ第四軍方面、軍ハ拂曉ヨリ予定ノ如ク攻撃ニ着手シ第十師団ハ「ソウヘ
ントン」南方高地ノ敵向ヒ午前六時頃ヨリ攻撃ヲ開始シ最初ハ攻撃
大ニ進捗セシガ午前十時ヨリ敵ハ大縦隊遼陽方向ヨリ全師団ニ向ヒ恢
復攻撃ヲ行ヒ午後三時ニ至リテ敵ハ益々其兵力ヲ増加シテ少クモ二師団以上
トナリ其砲数五六十門ニ達セリ然ルモ「ウカボウ」北方高地ヲ攻撃中ナル
近衛師団ノ左翼浅田旅団トハ未ダ協同スルヲ得ズ其右翼ハ一時危殆ニ

0564

陷リシカ勇奮戦闘、後午後三時頃ニ浅田旅団ト連繫スルヲ得テ
稍ミ良好トナリ、モ午後五時ニ至ルニ交戦酣ナリ、第五師団ハ今朝来
「ホウカトン」東方高地ヨリ「シンリットン」西方高地ニ亘ル敵ニ向ヒ（ダワ）
ヨリ其西方高地ニ亘ル間ニ展開シ、第三師団ト連繫シテ攻撃セシキ
此方面ノ敵ハ堅固ナル陣地ニ據リ、頗ル頑強ニ抵抗シ、師団ハ第三師
団ノ砲兵ト協力シテ攻撃ヲ準備ヲセリ、アルモ午後五時頃ニハ未タ敵
ノ陣地ニ突入スルニ至ラズ

三、第二軍方面、軍ハ昨来目的トスル敵ノ陣地ヲ攻撃スル為メ、今拂曉ヨリ
運動ヲ起シ、午前土時頃ハ第三師団ハ「シヤオヤンズイ」北端ヨリ全村
東北高地ニ亘ル線ヲ占領シ、「シンリットン」西方高地ノ敵ニ向ヒ、又第六師団
ハ「マエトウン」ヨリ大趙家台ニ亘ル線ヲ占領シ、「シヤウザンボ」西方高地ニ
向ヒ、共ニ攻撃ヲ着キヤリ、敵ノ兵力ハ詳カラストモ、漸次増加シテ最

0565

後、其砲数ハ首山堡西方高地に集テ於テ約百門ニ達スベシ且此方
面ノ敵陣地ハ堅固ニ構成セシ其副防禦ハ容易ニ我歩兵ノ近接ヲ
許カス從テ我攻撃ハ午後四時ニ至ルモ進捗セズ午後二時頃第三師団
ハ后備歩兵一聯隊徒歩砲兵一大隊ノ増加ヲ得タ其目的ヲ達ス
第六師団方面ノ其ノ右翼ヲ「グウジャズイ」西北部落ニ托シ盛ニ機
関砲ヲ以テ射撃シ第六師団ハ全カヲ萃テ之ヲ攻撃セシモ進捗ノ景
況ナキヲ以テ軍司令官ハ午後四時頃軍ノ左翼後ニ在リシ第四師団
ノ約半部ヲ其ノ左翼ニ増加セリ秋山旅団ノ野砲兵ハ午後二時頃「オ
ニトン」附近ニ達シ敵ノ背後ヲ射撃セリ右ノ如キ情況ニ在リテ午後七
時過ニ到ルモ尚ホ攻撃ヲ繼續中ナリ
四其他一般ノ情況左ノ如シ

昨三十日夜ハ第六師団ノ為ニ撃退セラレタル敵ハ夜襲ニ繼ガニ首

0566

山堡南方高地ニ向テセシ第三師団ノ夜襲ヲ以テシ彼我激烈ノ戦ヲ
交ヘツアルモ今(正午)ニ至ルモ戦機ノ發展ヲ見ス近衛師団及第四
師団ハ頗ル優勢ノ敵ニ対シテ奮闘其地ヲ保守シ第一軍ノ大部
ハ今朝九時頃已ニ太子河ノ右岸カントニ附近ニ開進ヲ試ミタリ
五、本朝第二軍參謀長ヨリ左ノ通報アリ

勇猛果敢ナル突撃ニ依リ今日午前三時頃第三師団ハシンリウトン
西方高地ヲ第六師団ハ首山堡西方標高99ノ高地ヲ全ク占領セリ
軍ノ死傷ハ未詳ナルモ頗ル多クナリ

六、昨日ヨリ今朝直ル敵ノ狙撃及砲撃ノ為メ(敵ハ昨夜十時半頃ヨリ三時頃ニ
至ル迄二龍山及東鷄冠山砲台等ヨリ我盤龍山東西砲台ニ向シ數十発ノ
射撃ヲ爲セリ)第九師団ニ八十余名ノ死傷ヲ生ゼシモ其大部ハ
軽傷ナリ

0567

第三軍参謀長 伴地知幸 介

0568

秘

(調日一月九)

(堡里十三)

一 至
塩漬

一至崖平

一至三賓

兵站監部

三

周

龍王塘海軍展望

龍頭

V.D.

XXV:B

X, B

VI. B

東砲台

五

五家房北方

(柳樹房)

0. П. А.

軍司令部展望哨

攻城砲兵司令部

↓電燈司金所

△ 台山海軍展望哨

Д-
★
ЦА.Б

☆
П.В.

I.B.

I.L.

北華頭窪海
一軍展望哨

〔長谷子〕

周家屯

(子城堂)

記號

備考

本國ニ名師團ニテテ携帶電
銃機多用ト通信スルモノ及ヒ攻城
特種部隊ニテテ隊内ノ專用ニ
係ルモノヲ除ク

（張繼畫西方高地）

臨時輕氣球

（張繼畫西方高地）

I.D.

0569

一攻撃作業計画書

一攻撃計画附図

襲三軍ヲ市送附致候第三軍訓令ニ添付スベキ分

右為参考及市送附候也

明治三十七年九月二日

岩村参謀

西参謀殿

海

軍

0570

攻撃作業計画

一、攻撃すべき堡壘

- A、大平溝東方約二千米ノ高地(十字形山)堡壘
- B、水師營西南方約六百米ノ堡壘
- C、龍眼北方高地上ノ堡壘
- D、盤龍山西砲台西方高地ノ堡壘
- E、東鷄冠山北砲台
- F、東鷄冠山砲台

二、作業實施ノ要領

攻撃作業ノ計画別紙附表及附圖ノ如シ

攻撃作業ハ當該方面ニ在ル部隊之ニ任シ其作業手申兵ハ一般ノ指導及特別ノ工事(壕土對壕先頭作業等)ヲ擔任シ步兵ハ步兵陣地及交通路ノ築設

攻路ノ掘擴並ニ工兵ヲ以テスル作業ノ助手ニ任スルモノトス

別表ニ掲クル歩兵作業手ノ負數ハ晝夜共斷ヘス必要ナルモノヲ示セリ其交代ニ関シテハ當該方面ノ部隊長ニ於テ指導工兵將校ノ意見ヲ參酌シ適宜之ヲ定ムモノトス

作業ノ迅速ヲ圖ル爲メ天然ノ地形ヲ利用シ並ニ敵火ノ緩急ニ應シ作業ノ種類及其實施方法ヲ適當ニ撰擇シ工事ノ節約ヲ勉ムルハ指導工兵將校ノ責任ナリトス

三 材料ノ供給

各工事ニ充ツヘキ主要ナル材料ノ種類及負數ハ別表ニ掲クル如シ其他ノ補助材料ハ適當ノ比例ヲ以テ之ヲ準備ス
材料供給ノ爲メ工兵廠支廠ヲ左ノ如ク轉移ス

第一支廠 大玉庄

第一師團方面ノ爲メ

第二支廠 王家甸

第九師團方面ノ爲メ

攻擊作業計畫豫定表

0573